



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.7.13

リそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



先週前半は米・イランの軍事攻撃の応酬が嫌気され、株式・債券ともに売りが先行しました。しかし、原油価格の反発が最大で70ドル台半ばにとどまったことから、週後半は株式・債券ともに買い戻しが優勢となりました。週間騰落率はS&P500が+1.2%、ナスダック総合は+1.7%、独DAXは同▲2.8%、日経平均株価は同▲1.7%で終えました。10年国債利回りは米国が前週末比+8bpの4.56%、独は+13bpの3.07%に上昇する一方、日本は▲4bpの2.74%に低下しました。ドル円は前週末比34銭円安の161円68銭、WTI期近は同+4.0%の71.4ドル/バレルで引けました。

今週は、ウォーシュFRB議長の議会証言、米6月CPI、中国4-6月期GDPが注目されます。また、今週より主要企業の4-6月期決算発表が本格化し、会社側の収益ガイダンス等が市場の変動要因となります。先週末には中東情勢の緊張が再び高まっており、原油価格の動向にも注視が必要です。

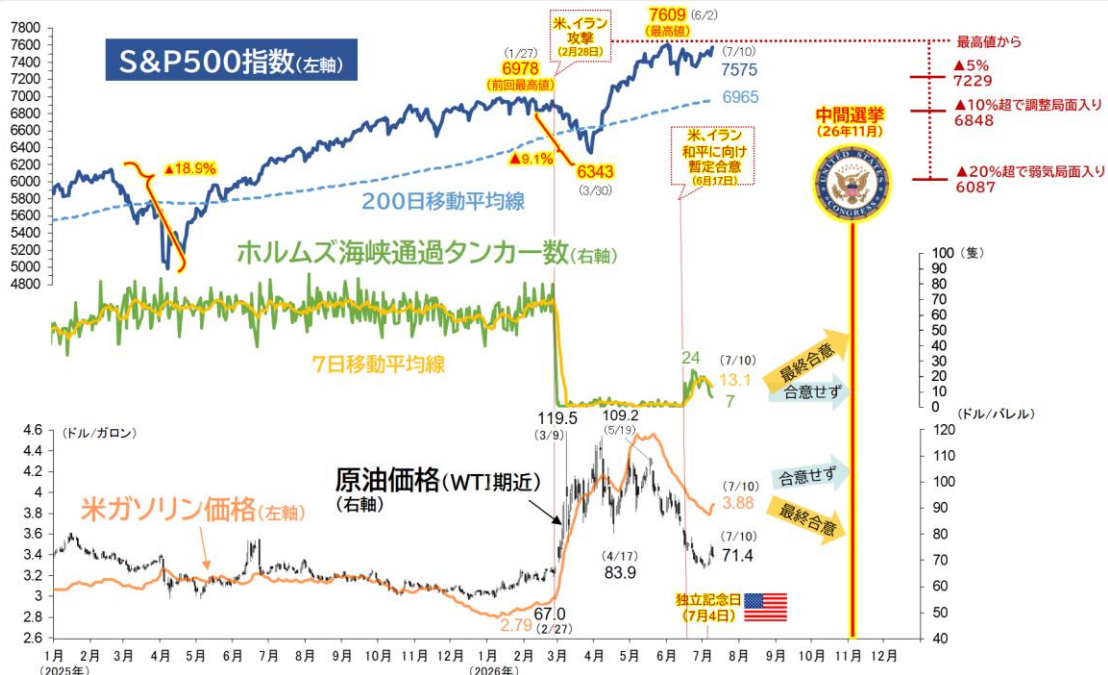
当面の注目イベント

- ◆米・6月コアCPI (14日)
- ◆米・ウォーシュFRB議長 議会証言 (14・15日)
- ◆中・4-6月期GDP (15日)
- ◆米・6月PPI (15日)
- ★米・7月NAHB住宅指数 (16日)

～世界主要企業4-6月決算発表～
J.P.モルガン、バンク・オブ・アメリカ、ウェルズ・ファーゴ
シティG(14日)、ASML(蘭)(15日)、TSMC(台)、ネットフリックス(16日)

★：リそな景気先行指数関連指標

米・イランの軍事攻撃の応酬を受け、前週末のWTI期近は1バレル=71ドル台で終わりました。週末にはイランがホルムズ海峡の封鎖を宣言するなど再び緊張が高まっており、原油価格の動向には注視を続ける必要があります



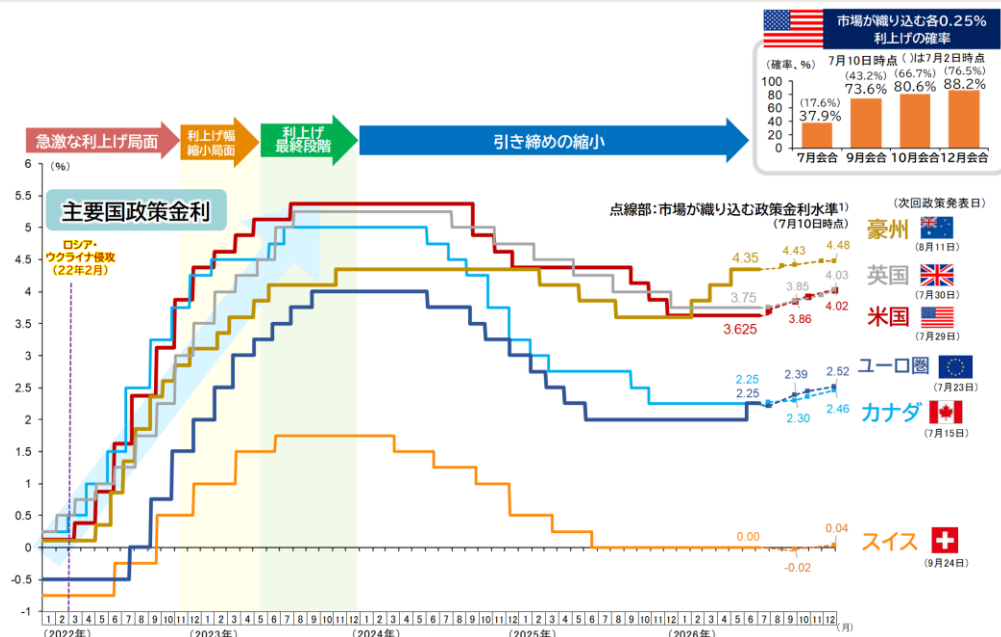
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



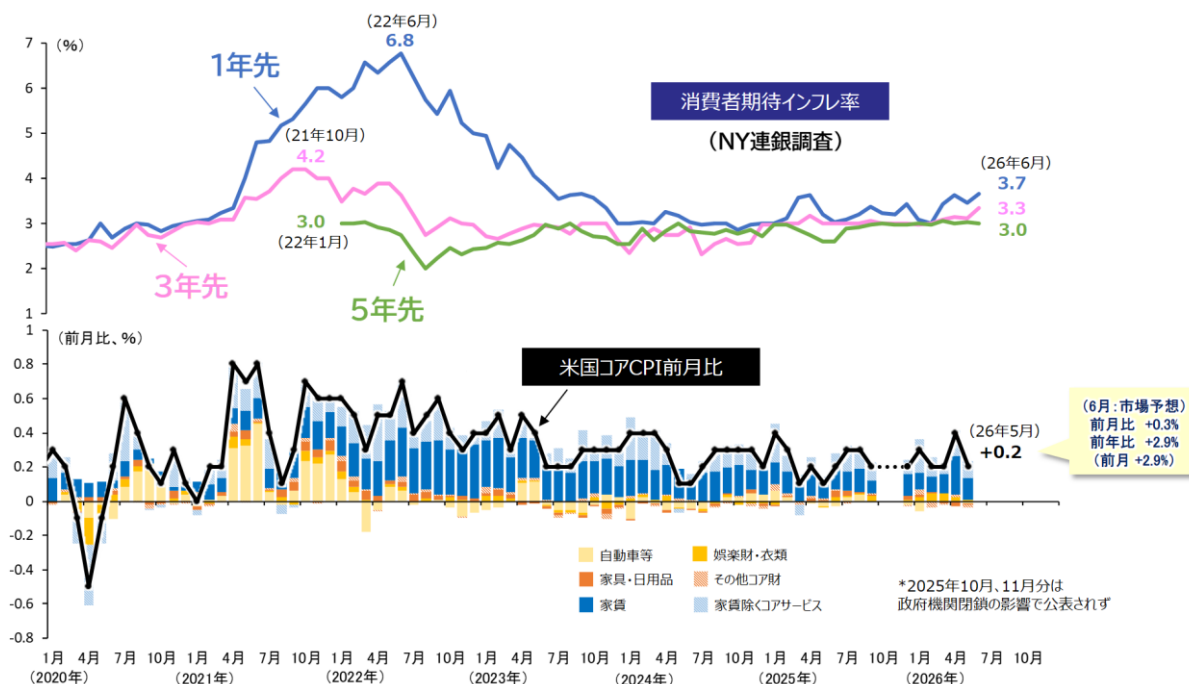
リそなアセットマネジメント

RESONA

FF金利先物市場では約88%の確率で年内利上げを織り込んでいます。今週行われる議会証言でウォーシュFRB議長がタカ派的（≒利上げに積極的）な発言を繰り返した場合、利上げ観測が一段と高まると予想されます



6月米コアCPIは、前月比+0.3%（前月+0.2%）、前年比+2.9%（同+2.9%）が予想されています。FRBの金融政策を見通す上で、基調的な物価動向を示す「家賃除くコアサービス」が低位安定を続けているか注目されます



次回は 2026年7月27日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。